

# 尾道地区 保護司会 会報

第75号

2022年8月1日  
発行

## CONTENTS

- 尾道地区保護司会会長挨拶 ..... 2
- 受章に寄せて ..... 3
- 保護観察官新任の挨拶 ..... 3
- 令和4年度総会について ..... 4
- 第72回“社会を明るくする運動” ..... 4
- 社会貢献活動 ..... 5
- 新任保護司の紹介 ..... 5
- 保護司の記録 ..... 6
- 保護司の“わ” ..... 7
- 各新役員就任にあたって ..... 8~9
- 尾道保護区更生保護団体コーナー
- 更生保護女性会だより ..... 10
- 雇用主会だより ..... 10
- 尾道地区保護司OB会だより ..... 11
- 文芸コーナー ..... 12
- 囲碁入門講座 ..... 13
- 尾道地区保護司会役員及び部会員名簿 ..... 14
- 事務局だより、あとがき ..... 15
- 活動風景(2022年1月~7月) ..... 16

第71回“社会を明るくする運動”《尾道市長賞》

ふみ出そう 新たな自分へ 勇気を持って

尾道市立日比崎中学校 郷坪 寧音



# 会長就任にあたって

尾道地区保護司会

会長 木村 修二



新型コロナウイルス感染症が全国的に蔓延し、感染予防対策や安全対策が優先されますので、更生保護活動が制約されていますが、消極的になるのではなく、3年ぶりに元に戻した総会を開催する事が出来ました。

さて、令和4年度総会で、村上俊昭会長が任期満了を迎え退任されるにあたり、不肖私が会長に選任されました。

このような大役を仰せつかり、身の引き締まる思いと同時に責任の重さを痛感しております。

選任された以上は、村上俊昭会長が進めてこられた保護司会活動を継承して、充実、発展のために、精一杯努めてまいります。

総会懇親会で発言したとおり、3つの出し惜しみをしないことを宣言いたします。

「1つ 汗の出し惜しみをしない。」

1つ1つの行事を大切に、丁寧な説明・手続き等こまめに体を動かし事業を推進していきます。

「1つ 知恵の出し惜しみをしない。」

新型コロナ禍の時代において、消極的な意見でなく、何事にも、どうしたらできるかを考え、知恵を出して事業を進めていきます。

「1つ 愛の出し惜しみをしない。」

社会全体の幸せのために、自分の持っている包摂の愛の出し惜しみをせず、誰一人取り残さない社会の実現に微力ながら取り組んでいきます。

何分とも浅学非才な私ではありますが、保護司の皆様方をはじめ、更生保護関係者の皆様にご迷惑をお掛けすることが有ろうかと思えます。どうか、ご協力、ご指導を賜ります様お願い申し上げます。

具体的施策については、令和4年度の事業計画書に示されている方針3項目の実践を行います。

1 定例研修会の出席率の向上・処遇能力の向上を目指します。

欠席者の資料送付を止め、補修研修の指導等研修部会・総務部会で検討をして、出席率の向上策を出来る範囲で検討いたします。

2 更生保護の施策である再犯防止のため、更女・雇用主・OB会の連携を深めていますが、連絡協議会の回数を増やすなど更なる連携を図ります。

3 保護司定数78人の確保をめざす。現在74名の保護司を4名増員するよう努力いたします。

また、各部会で実践する事業の充実・拡大・成果が向上するよう保護司皆様方のお知恵を出し合い活動を進めていく覚悟でございます。

7月の社会を明るくする運動では、街頭宣伝・ポスター掲示活動・広報活動等創意工夫をして対応され感謝申し上げます。

運動の趣旨をしっかりと実践して頂けるように、犯罪や非行の防止と立ち直り支援は、地域の多くの方々のご理解とご協力を頂きながら、社会全体で取り組むことが大切です。“生きづらさ”を抱える人、再出発を図ろうとする人の受け入れ等、立ち直ろうとする人の生きづらさを包み込むコミュニティは、新たな被害者を生まない、新たな加害者も生まない、誰一人取り残さない、包摂的社会の実現に向けて頑張ります。

今後とも保護司の皆様方はもちろんのこと、更生保護関係者の皆様や地域の皆様と手を携え、更生保護活動に鋭意努力してまいりますので一層のご協力ご支援を賜ります様お願い申し上げます、就任の挨拶といたします。

# 藍綬褒章受章によせて

この度は身に余る藍綬褒章の栄に浴し大変感激しております。これも偏にご支援頂いた保護司の皆様そして家族の支えのお陰と心から感謝いたしております。

思い起こせば、保護司拝命の話を頂いた時「この私に務まるだろうか」と大変不安な気持ちでした。しかし「一人一人を更生させるお手伝いのであれば」と決心し、そしてお受け致しました。

初めての対象者は今も忘れる事が出来ないほど印象深く残っております。

県外から引っ越して来た二十一歳の若者でした。大変気が短く平気で嘘つき、約束も殆ど不履行で担当が終わるまで数回しか面接する事が出来ませんでした。観察官に担当を外させて欲しいと申し出たことも有りました。しかし、「無理をせずやれる範囲の事をやればよい」と助言を戴き気持ちが大変楽になりました。その後も色んな案件を担当して来ました。懐かしく思い出すと共に、沢山のことを学ばせて頂きました。

これからも、この受章に恥じぬよう尚一層の精進を重ねて参りたいと思います。

この度は、誠にありがとうございました。



第2分会

三浦 幸廣

## 着任の御挨拶

この度の人事異動により、岡山保護観察所から転任してまいりました。前任の桂木保護観察官に代わり、尾道地区を担当させて頂いております。どうぞよろしくお願いいたします。広島保護観察所での勤務は初めてとなりますが、岡山保護観察所の前には中国地方更生保護委員会におりましたため、広島県での勤務は2回目となります。

一昨年から続いております新型コロナウイルスの感染拡大は、主要な行事の中止を招くなど、更生保護活動そのものに大きな影響を今なお与えておりますが、最近では、少しずつ収束に近づいているのではないかと感じております。そのため、今年度は、様々な行事が久しぶりに開催されることも多いのではと期待しています。ですが、健康第一のため、引き続き感染対策をしながら、職務に努めていきたいと思っております。

さて、近年の犯罪は減少傾向にありますが、一方で再犯者の割合は増えており、再犯防止が課題と言われております。保護観察中はもちろんのこと期間満了後も社会内での孤立と再犯の悪循環を防ぐ取組が求められています。就労、住まい、家族関係、本人が抱える障害や依存症による生きづらさなどのたくさんかつ複雑な問題に適した包括的な支援が必要ですが、保護観察を行うにあたって、こちら側が思う支援とは異なる思いの人もおり、彼らのニーズに寄り添った具体的な支援やその支援への動機付けの難しさを日々感じています。

また、今年の4月1日には、少年法等の一部を改正する法律が施行され、特定少年と呼ばれる18歳及び19歳の者を対象とする保護処分が新設されました。さらに、検察官に逆送される範囲が拡大され、起訴された場合は実名報道されるなど、18歳未満の少年とは異なる取扱いが定められました。こうした特定少年の法的位置づけを踏まえ、処遇の充実強化も図っていかねばならず、頭を悩ませることも多い毎日です。

今後とも日頃から、地域に密着した活動をしていただいている皆さまと共に、再犯防止を図るべく、誠心誠意取り組んでいく所存です。まだまだ未熟者で、ご迷惑をおかけすることもあるとは思いますが、ご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願いいたします。



広島保護観察所  
はなおか まお  
花岡 麻央



# 令和4年度総会について

事務局長 小田 秋良

3年ぶりにご来賓の皆様をお招きして、5月11日（水）14時30分から尾道国際ホテルにおいて、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取りながら開催することが出来ました。

保護司44名が出席し、令和3年度の事業報告及び決算報告を満場一致でご承認頂きました。引き続き、令和4年度の事業計画（案）及び収支予算（案）をご審議頂き、これも満場一致でご承認頂きました。このあと休憩を挟んで役員改選に移りました。今年は2年に一度の改選年に当たり、会長をはじめ多くの方が新しく役員にられました。

会員皆様のお陰で、総会は粛々と進み全ての審議を速やかに終える事ができました。

今年は3年ぶりに懇親会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染状況に配慮しながら直近まで開催の是非について審議し、開催することに決定致しました。久しぶりの懇親会ということで和やかに時間が過ぎるなか、保護司OBの方々の近況等もお聞きする事ができ、楽しい時を過ごしながら盛会裏に閉会することができました。ご協力有難うございました。



## 第72回“社会を明るくする運動”への取り組み

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

地域活動部会長 杉原 正子

令和4年度の取り組みは、広島県推進委員会の方針を受け、コロナ事情により2年間行われなかった行事も、尾道市推進委員会では例年通り実施する方向になりました。この方針を受け、尾道保護司会としても事業計画を作成しました。しかし、依然としてコロナウイルスは生き続けており、今年度も感染予防対策に万全を期すると共に、社明運動に取り組みたいと思っております。

内閣総理大臣メッセージを尾道地区保護司会会長から尾道市長への伝達式から始まり、各地区公民館・小中学校・神社仏閣・公共施設・商業施設等へのポスター配布を地域活動部会が中心となり掲示依頼に回りました。

7月強化月間の街頭広報活動として、各地区9ヶ所で新調されたのぼり旗を掲げ、更生保護女性会及びOB会の方々も参加されての実施。そして、尾道市民センターむかいしまに於いての講演会開催。又、広報車による広報活動も、車体につけるマグネットシートを用意し、引き続き各地区11学校区で実施します。今回は、街宣放送の内容を新しくし、より一層地域の方々にご理解していただけるよう、第71回の作文・標語コンテストで市長賞に選ばれた標語を取り入れた内容とし、高校のアナウンス部に録音をお願いすることにしました。まずは、尾道商業高校へお伺いし、依頼へのご了承をいただきました。

学校との連携では、学校連携担当者と更生保護女性会も参加して選考・校正を経て、12月11日（日）更生保護サポートセンターにて“社会を明るくする運動”作文・標語コンテスト入賞者の表彰式を行います。その他、ミニ集会、薬物乱用防止教室、女性保護司の会は各地区・各学校区にて随時活動していく予定です。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。





# 社会貢献活動実施報告

社会貢献活動 担当者 福岡 輝行

令和4年度の社会貢献活動を天寧寺様の協力を頂き、去る5月20日（金）に実施致しました。もともと4月22日（金）に行う予定で計画書を提出していましたが、国の活動保険の契約が不調となり延期となっていました。5月下旬は暑くなるので4月の方が作業しやすいのではという天寧寺住職の提案でしたが、その通りに少し汗ばむ程の良い天気になりました。今回は対象者3名（うち1名は都合により不参加）、対象者の保護者1名、更生保護女性会より3名、社会貢献活動担当保護司3名と事件担当保護司2名、花岡保護観察官を合わせて12名での作業になりました。

今年は参加人数も少ないので三重塔周辺は行わず、墓地周辺の枝葉の剪定と枯葉集めに集中しました。男性3名ほどで通路にはみ出た枝の剪定を、対象者と残りの者で枯葉の回収ですが、これが長い間堆積されたもので、用意した収納袋が足りなくなる程沢山で驚きました。クリーンセンターへの搬入も高田保護司に軽トラを用意していただきましたが、とても1回では運びきれず、3回通っていただくことになりました。高田保護司だけに残業をして頂き、誠に申し訳なく、本当にありがとうございました。作業終了後のミーティングでは、参加者に住職からの労いの言葉を頂き、お土産のお菓子とか飲み物も頂戴いたしました。2名の対象者とご家族も思ったよりしんどかったようですが、心地よい汗と達成感を味わって、短時間ですが充実した時間を過ごすことが出来たように思います。

今回参加下さいました、対象者、事件担当保護司、更生保護女性会の皆様には、本当に外出しにくい状況の中でのご協力感谢您いたしますし、時間のない中で対象者の募集とか、取りまとめをくださった保護観察官の花岡様にはご無理ばかりを申し上げて、申し訳ございませんでした。場所を提供して下さった天寧寺様をはじめ、関係者の皆様、本当にありがとうございました。



## 新任保護司の紹介（令和4年6月1日付委嘱）よろしくお願い致します



このの やすのり  
第1分会 河野 康則

### ①趣味

読書

### ②好きな言葉

愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ  
（オットー・フォン・ビスマルクの言葉）

### ③健康法

暴飲暴食を控えるように心掛けていること

### ④保護司感

明るく健全な地域社会であるための重要な存在



# 保護司の 記録

第1分会

高垣 信雄

14年前、同地区の保護司さんから今年退任するので、次の保護司を引き継いでくれないかと相談を受けました。この地区は事件もないし、年に何回か事務所に行くだけだからいそがしい事はないよと言われ、それなら引き受けますと返事をしました。

次の年には最初の対象者の依頼が来ました。内容は不良少年グループの元リーダーで会を脱退するならランチを受けるか30万を支払うかを選択しなければならない決まりがあり、この決まりを利用して脱会を希望していた少年から現金30万円を脅し取ったものです。さらに暴力団関係者と共謀して、18歳以下の少年を露天の販売業務に従事させていました。4年間の保護観察でした。初めての対象者との面接をどうしたら良いものかと思案して前任の保護司さんに相談したら、あなたの思うようにしたらと言われました。対象者が元暴力団関係者で最初の面接はどうなるかと思っていましたが、直接対象者と会って話をしたら、まじめに受け答えをしてくれて私もホッとしました。保護観察開始から2年くらいたって彼から面接の時に子供を連れてきてもいいですかと聞かれ、それは問題ないよと返事をしたら、本当に連れてきて一緒に面接したのをよく覚えています。話を聞いていると最近は飲酒も控えるようにし生活を改善し、今まで疎遠にしていた父親と会っているということを聞き、それは大変いいことだなと思いました。

そして保護観察開始から3年くらいたって主任官と三者面談をして、将来の計画もしっかり立てよく頑張っているので解除の良好措置を取ってもらうようにし、1年早く、保護観察が終わりました。

良いことは重なるもので第二子も誕生しました。

対象者も家族の方も良くなるまで努力して良かったと思いました。

同時期に一緒に見ていた子で中学二年の頃から校内で机などの備品を壊すなどの問題行動がある対象者が、教師に暴力をふるい、同級生に対し暴行を加え、打撲等の傷害を負わせたりして、中学三年の時に学校で暴れて中学校から連絡がありすぐ来てほしいと連絡を受け駆けつけてみると、対象者が興奮して暴れていました。直接対象者と会って話をしていくうちに冷静になって来て、おとなしくなったので、後は先生方に任せて帰りました。

それから来訪するうちに徐々に話をする様になり、社会貢献活動にも参加するようになりました。その時の保護観察官の所見でも、一生懸命汗を流して働き、更生に向けての契機になればと言われていました。就職するのに普通免許があれば有利になるので、資格を取るために頑張りますと、就職に向けて真剣に考え、話をしても段々と明るくなりました。それから間もなくして、保護観察解除通知書が来ました。解除後も道で会った時でも明るい笑顔で挨拶もしてくれるし、本当に明るい子になりホッとしました。

終わりに罪を犯した子供たちと一緒に頑張ってきた事で、子供たちも更生して、明るい生活が出来る様になり、今まで支援してきた本当に良かったと感じます。保護司として最後まで精一杯頑張ります。





今回は、第1分会の橋本晶子さんに、次の4項目についてお尋ねしました。

- ① あなたはどんな人ですか？
- ② ご家族は？
- ③ あなたの信条・生活訓は？
- ④ 保護司として、ご苦労なことは？

## 第1分会 橋本 晶子

### ①あなたはどんな人ですか？

昭和22年尾道市久保町で生まれました。東京の大学へ進学し学生生活をおくりました。卒業後、尾道へ帰って就職しました。JA尾道総合病院の院長秘書です。その後、高校からつきあいの合った人と結婚し高須町へ住むようになりました。

### ②ご家族は？

子どもは隣りで開業している歯科医の長男、大阪府堺市で外科医をしている長女、福山市神辺町で歯科医をしている二男の3人です。夫は病気で23年前に亡くなりました。

### ③あなたの信条・生活訓は？

一度決めた事は貫く、そしてぶれない事です。自分では先見の明がある方だと思います。

### ④保護司として、ご苦労なことは？

「保護司のわ」について。と、言われて原稿の依頼を受けたわけですが、「わ」とは、和？なのか輪？なのか、と思ひながら漠然としたおもいで、ペンを取りました。

まずは、和の意味で記してみます。初めて、保護司として任命を受けた数ヶ月後、16歳の少女を担当しましたが、法務関係の内容をまだ理解できていない時点で、まだまだ人間関係も確立していないし、誰にも助言を求めることも出来なくて、只々、当時の阿部観察官を頼るしかなくて、本当に全てを丁寧に対応して頂くことに依って、少しずつ自信も持てるようになり、対象者との関係も上手く行く様になりました。

その頃は、研修会へ参加することが、とても苦痛で、どうして保護司になったのかと後悔ばかりでした。亡き主人から、地元では目立たない生活を送る様にと常に言われていたのに、学校行事で来賓として参加することがとても負担になり、どうして保護司を引き受けたのかと思う毎日でした。それから暫くして親睦を兼ねた旅行に思い切って参加する機会を得て、先輩保護司の方々に、お声をかけて頂き、親しくしてもらい、とても有り難い気持ちになりました。自分から進んで



お話をする事に、少しずつ自信が持てる様になりました。それからというものは、女の人が少ないので、私の様な思いをすることのないように新しく参加された保護司の女性には、声を掛ける事にしました。話をしたくない男性保護司の方が、殆どですが、兎に角、研修会を含めて、集まりには必ず参加して皆さんとの「和」を図りたいと思っております。

次の「輪」ですが、このことも、慣れたこともあり、身体の調子が、悪くない限り参加して少しずつでも、自分の意見交換することが出来る様に努力したいと思っております。色々な意見交換をしながら保護司の方々と、「輪」を繋げたいと思います。

ただ、「輪」ということを考えれば、地域で役割分担されている挨拶運動に参加することが任務と考えていても、椎間板ヘルニアを患っておりますと、このことすら、とても負担に思うことが多々あります。任務を遂行できないとなれば、「輪」を維持することが出来ないのです、退任する事を考える今日この頃です。あと少しで退任なので、もう少し頑張ってみようかな？と今、対象者を引き受けておりますので、この方を最後に退任したいと思っております。

残り少ない保護司の仕事頑張りを、「輪」と「和」を大切にしたいと思ひます。

保護司の皆様には、本当に良くしていただき感謝申し上げます。

最後に拙い文章で申し訳ございませんでした。



### 取材後記

6月14日 保護司研修会後に伺いました。尾道水道に面した景色の良いお家でした。お話を聞きながら何事にも前向きに生きておられる事を実感しました。

村上富行・野田佳裕



# 各新役員就任にあたって

副会長 福岡 輝行



この度は副会長という大役を拝命し、責任の重大さに身の引き締まる思いです。早速今までの不勉強を改めて少しずつでも学んでいなくてはと思います。ここ3年ほどコロナ禍に於いて、様々な活動に制限を受けてコミュニケーションがとりづらく、また会合などに出席してもいいのか否かという葛藤も生まれます。そう言った諸事情もあり、最近の研修会などの出席率が低下しているように思われます。

昨今の状況では仕方がないというのではなく、皆さんで知恵を絞り、取り急ぎ分会、部会の活動を少しずつ元に戻していきながら、新しい方にも声掛けをして研修会に出席をして頂き、保護司としてのスキルを伸ばしてゆけば、より充実した保護司活動が可能になるのではないのでしょうか。対象者もなるべく多くの方に受け持っていていただき、経験をして頂くことが大切だと思います。新しく会長に就任されました木村さんを中心として微力ながら会の円滑な運営に寄与できる様に頑張りたいと思います。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

副会長 村上 美鈴

この度の役員改選で、現行4名体制の副会長に1名は女性を、又、万遍無く各分区から1名ずつが望ましいという理由でお話を頂きました。一度はご辞退したのですが、残りの在任期間が5年であり、もはやせざるを得ない状況となりました。「順番じゃあ。これもあんたの宿命じゃ。」というお言葉を受け止め、お引き受けさせて頂く事になりました。

副会長として、足りるものは何も持ち得ず、今の私にある物といえば、対象者に向き合ってきた15年の歩みだけです。これまでに12件を担当しました。拝命した頃には、先輩女性保護司の方々も多くおられました。ここ数年で次々と退任され、寂しさを感じています。他に、地域活動部会の副会長も兼ねますので宜しくお願い致します。

第2分会の向東・向島地区に於いては、新人保護司候補者の発掘、検討が喫緊の課題ですので、先ずはこれに取り組んでいきたいと思っております。



事務局長 小田 秋良

平成18年6月に保護司の委嘱を受け、何も分からずに保護司活動をスタートしました。この間何人かの対象者や、数件の環境調整に対応させていただきました。

保護司会事務局には2期携わってきましたが、この度の総会において、事務局長という大役をお受けする事になりました。何分とも浅学非才な私には身に余るものと当惑。日々、緊張することしきりで、その責務の重さを痛感しているところであります。保護司の先生方をはじめ、更生保護関係者の皆様には、いろいろとご迷惑をお掛けすることが有ろうかと思いますが、尾道地区保護司会の充実、発展のために微力ながら木村会長を支え、誠心誠意頑張るべく所存でありますので、何卒、皆様のご指導ご鞭撻とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。





## 会計部長 金森 泉

この度、尾道地区保護司会の会計部長をお受けすることになりました。

保護司に平成24年6月1日に委嘱されたので、今年で丁度10年が経ちました。保護司として、現在、月2回の対象者との面接を通じ、一緒に勉強をさせてもらっていますが、まだまだ自分の経験不足、未熟さを痛感しています。これからも「聞く力」、「思いやる心」を磨いていけたら、と感じる毎日です。

保護司会は、会員の皆さまの保護司活動に対する実費弁償金、年会費、寄付金、また、尾道市からの助成金などで運営されています。これから担当する会計は、皆さまの大事なお金を預かる仕事であり、身の引き締まる思いです。

木村新会長のもと、微力ではございますが、職責を果たしてまいりますので、皆様のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



## 第2分会長 高田 英雄

第2分会長に任命されました、高田英雄です。コロナウイルスの影響も、少し下火になってはいますが、まだまだ注意が必要です。

7月1日～2日には社会を明るくする運動の街宣活動を、会員の皆様と一緒に進めました。

第2分会では会員の顔と名前をおたがいに知り合い、意思疎通を計り、打ち解けた会にしていきたいと思えます。

10月には、尾道市の広報車による街宣活動を2か所に分けて行います。当分会の課題としては、新任保護司の発掘と勧誘です。当分会の保護司数は、全分会の中では最も少ない為、募集に力を入れてはなりません。

今後、自主研修等色々な機会を通して、皆様と意見を出し合って運営をしたいと思っています。

何も出来ない私ですが、ご助言と応援をいただきながら頑張りたいと思えます。



## 広報部会長 手島 常俊

皆様、暑中お伺い申し上げます。この度、広報部会長を拝命いたしました。

保護司になって以来12年、広報部会一筋です。私は文章力、語彙力に減法乏しく、編集校正作業にはいつも難渋しております。ゆえに私のところでいつも原稿の渋滞が起こっています。仕事力が高まらないまま部会長就任とは、私には荷が勝ちすぎて心がつぶれそうです。広報部会の方々には全面サポートを伏してお願いたします。

一方、手に取ったらすぐにページをめくらずにはいられない、さらに先へとめくりたくなる、そのような冊子を将来作り上げることができたら素敵なことだな、と妄想したりもしています。そして楽しく部会を運営し、小紙を手にした皆さんが読んでよかった、次も読みたいと思える会報誌になるよう鋭意取り組んでいきたいと考えております。皆様のご意見ご助言ご提案を賜ることができれば幸甚に存じます。

部会長としてはなにぶん頼りなさが目につくことと思えますが、周りの方々に叱咤叱咤時々励ましを頂戴しながら勤めてまいる所存です。何卒よろしくお願いいたします。



# 尾道地区更生保護団体コーナー

## 更生保護女性会だより

尾道地区更生保護女性会

会長 杉原 静子

4月25日(月)サポートセンターにおいて、コロナ感染症対策をしっかりとし、又密にならないよう出席者制限をして、令和4年度の総会を開催いたしました。役員改選の年にあたり、3期6年にわたりご尽力頂きました永本貞子前会長の後を受けて会長の大役をお引き受けすることとなりました、杉原静子でございます。

本年度より本部役員が8名から6名となりましたが、永本前会長が顧問に就任して頂くこととなり、大変心強く思っています。役員そして会員の皆様と一緒に更生保護女性会としての活動を、4者連絡協議会の皆様と連携しながら精一杯努めてまいりたいと存じますので、前会長様と同じく、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今年度の役員を紹介いたします

顧問	永本 貞子	
会長	杉原 静子	
副会長	川崎 訓子	檀上 恵美子
書記	阿草 真理	
会計	金本 好子	幣原 俣江



コロナ禍のなかで、活動も思うように進みませんが、その中であって5月20日(金)天寧寺においての社会貢献活動に更女から3名参加し、境内での作業にあたりました。

又、2年間中止となっておりました矯正展が、11月3日(木)文化の日に会場をJR尾道駅前緑地帯にて開催予定です。開催方法はどのようになるのかはわかりませんがその節には、皆様方のご協力をお願いいたします。更女として、心穏やかに笑顔で前に進んでいけるよう役割を果たしてまいりたいと考えています。どうぞよろしくをお願いいたします。

## 雇用主会だより

尾道地区協力雇用主会

事務局長 福岡 輝行

令和4年度総会を去る5月26日に尾道ロイヤルホテルに於いて開催しました。広島保護観察所から組谷隆司統括保護観察官、ハローワークより東義行所長、尾道地区保護司会より木村修二会長、更生保護女性会より杉原静子会長、保護司OB会より宇根本忠信会長のご臨席を頂き、また、三原地区協力雇用主会より坂元亨会長、森田章裕事務局長もご出席を頂き、保護司会より6名の出席、雇用主会から11名の出席のもと、円滑に議事の進行を終え、総会を終えることが出来ました。ご臨席の方々より暖かいお言葉を頂戴し、また広島県協力雇用主会連絡協議会の副会長でもあります、三原地区協力雇用主会の坂元会長より、協力雇用主を取り巻く現状について説明も頂きました。

懇親会では、感染症対策でマスクを着けてではありますが、席を立ててそれぞれが親しく歓談する姿がすごく新鮮に感じられました。

我々地区雇用主会を取り巻く環境は依然不安定ではあります。本来の目的であります「就労支援」の依頼は近年全くなく、観察所からのその殆どの要請を就労支援事業者機構が独占しているのが現状です。就労支援を第一の目的として作られた協力雇用主会が、本来の目的である就労支援の機会を与えられないというジレンマをいだきながらの活動を強いられています。更生保護に理解があっても、すべての雇用主がすぐに雇用できるわけでもありませんが、就労支援に携わることができないことにモチベーションは下がっています。各地区のアンケートにもあるように、尾道だけの問題ではなく、この構造的な問題を解決に向けて少しでも前進させていかなくてはいけないと思います。皆様のお知恵をお貸しくくださいます様お願い申し上げます。





## OB会だより

### 「新型コロナ」収束後の活動心得

尾道地区保護司OB会

会長 宇根本 忠信

世界を席卷している「新型コロナウイルス」の収束が中々見えて来ません。

後期高齢者最晩年の私達には、感染のリスクが取り分け高いことを思うと、用心には用心を重ね、折角の長寿が無為に終わる事が無いよう、コロナ後の新たな時代に確りと向き合って参らなければなりません。

コロナ禍で極端に制限された自粛生活は、思いもしなかった心の安寧が得られ、年を重ねた事で改めて与り知る糧に触れる尊い期間でもありました。

愛着と誇りある保護司活動が、曲がりなりにもこの身を支えて呉れた感謝と喜びの思いが、今更のように思い起こされた事であります。

それは、社会奉仕の精神をもって尽瘁し励むことを掲げた保護司信条です。

過ちに陥った人たちの更生と全ての人々との協力を得た犯罪予防への尽力であり、研鑽して人格識見の向上に努める事を誓った高邁な目的に、誇り高い感動が呼び覚まされたことであります。

更に、保護司の使命とも思える「一隅を照らす」と云う言葉を拠り所として励んだこと等、思いを新たにすることが出来ました。

昨年、一昨年とコロナ禍の猛威でOB会の活動は滞っておりますが、高齢者後期の最晩年の被保護者であろうとも、支え手側と受け手側が常に固定しているのではなく、皆が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域社会の実現を目指す包摂社会の更なる進展と、社会の片隅に灯す闇の一灯が、二灯・三灯と全ての人々との協力があれば万灯に繋がり、文字通りだれ一人取り残さない明るい社会の達成が期待できます。

引き続きよろしくお願い申し上げます。

尾道地区保護司OB会事務局 高橋 晋一郎

新型コロナの渦中OB会も会合が制限されていましたが、昨年の暮れには親睦会を兼ねた忘年会を、又、今年度6月14日に総会を開催し、来賓の方を迎え久しぶりに皆様と元気な顔合わせが出来ました。

私たちOB会員も年齢を増すごとに身体のあちこちに大なり小なりの変化を抱える年になりましたが、年なりに元気で一日一日を感謝の気持ちで過ごす事が出来れば幸せではないでしょうか。

この度、長年にわたり保護司及びOB会の顧問として活躍され、101歳の長寿を全うされた浄土寺長老の小林海暢様が亡くなられ、会員共々ご冥福をお祈りいたしました。

現在OB会員も22名で構成しておりますが、年々退会者も増えお目にかかる機会も少なくなつて来ております。OB会の願いとして保護司を満令退任の方、出来ればOB会への入会を心待ちにしております。

今後ともよろしく申し上げます。





# 文芸コーナー



## 詩

### 裏山

OB 島田 恭次

背丈と同じほどに見えていた  
目の前の景色が  
尾根に通じる山砂を  
サクサクと踏みしめるたびに  
遠くまでぐんぐんと視野を広げ  
大きく微笑みかけてくる

心にわだかまりができると  
よく裏山に登った

そこはサイレントの世界

尾根近くまで登って振り返り

そこにたたずんでいると

目の前に広がる微笑の中に

身を投げ出してみたいくなる

いつものところで腰を下ろし

その景色と静かに向き合う

しばらくは対峙していたが

さまざまに会話していると

笑顔で全てを受け入れてくれる

その癒しの懐に抱かれると

糸の絡みが解けはじめるように

止まっていた時間が

時を刻みはじめる

## 俳句

### 盆の月

OB 高卯 石男

穴あきのジーンズ闊歩夏来る  
影もまた暑さに耐へてゐるごとし  
音ひとつなき石庭の涼しさよ  
碎石の音の途絶えて時鳥  
客去りし部屋のしじまや盆の月

### 炎昼

OB 吉原 茂子

炎昼や潜り戸暗き大伽藍  
姉見舞ふ夕かなかなの中の黙もた  
凌霄のうぜんや風をからめて咲きのぼる  
夏みかん落つるにまかせ過疎の村  
窓開けて独りの朝餉小鳥来る

## 漢詩の香り

江雪こうせつ

柳宗元りゅうそうげん

千山鳥飛絶  
万径人蹤滅  
孤舟蓑笠翁  
独釣寒江雪

せんざん 千山鳥飛ぶこと絶え  
ばんけいじんしよめつ 万径人蹤滅す  
こしゆうさりゆうおう 孤舟蓑笠の翁  
ひとり釣る寒江の雪

あらゆる山々から鳥の飛ぶ姿が見えなくなり、  
すべての道という道から人の足音が消えてしまった。  
一艘の小舟に蓑笠をつけた老人が乗っている。  
降りしきる雪の中、凍える寒い川でひとり釣りをする。



- ◆ 江雪…川に降る雪。
- ◆ 千山…あらゆる山々、すべての山々。
- ◆ 人蹤…人の足あと。
- ◆ 孤舟…一艘の小舟。
- ◆ 翁…老人(ここでは作者本人のこと)
- ◆ 寒江…寒い川。

### 【作者紹介】

柳宗元(りゅうそうげん)は唐代中期の詩人で、ジャンルとしては「山水詩人」。王維・孟浩然・韋応物とともに「王・孟・韋・柳」と呼ばれています。下級官僚の子として長安に生まれ、二十一歳の若さで科挙の進士という試験に合格、官僚となるが改革の志半ばで永州(現在の湖南省)に左遷される。この詩も永州で詠んだもの。

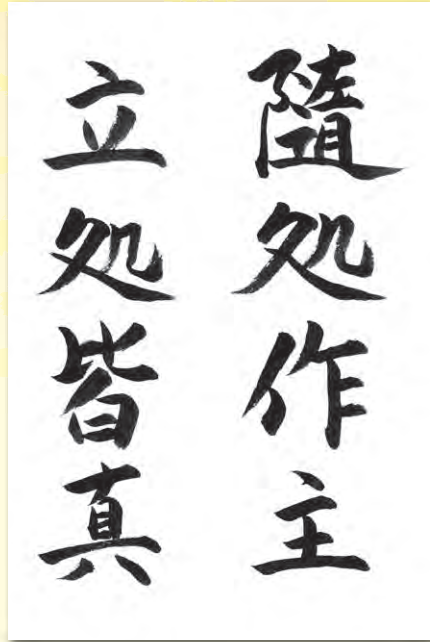
日本を代表する室町時代の水墨画家雪舟はこの詩の美しさに感銘を受け、この「江雪」から名前をとったと言われる。

(手島 常俊)



書

●書 板坂 剛志

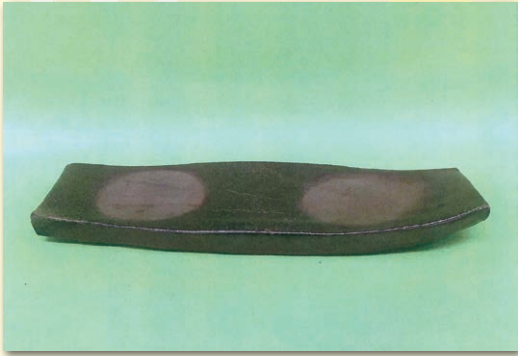


随処作主 立処皆真  
(ずいしょにしゅとなれば りつしょみなしんなり)

どこにいても周りに振り回されることなく、  
自分の純粹な心を忘れずにもものを見て、  
精一杯の真心で行動すれば、どんな環境にしようと  
人生の眞実や生の意味が発見できること

陶芸

●作陶 野田 佳裕



備前 「平皿」

絵画

●画 O B 田中 功



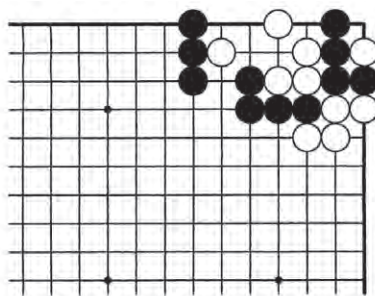
「夏野菜」

○●○囲碁入門講座 第18回(尾道市の市技「囲碁」)●○●

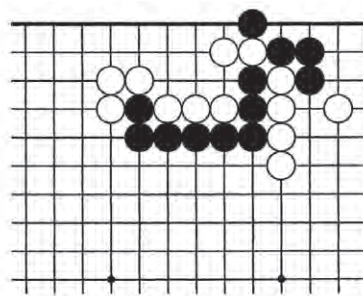
(監修 木村修二)

石を取る手筋

中盤戦の戦いは、死活が絡んでくるので、  
生きているのか死んでいるのかわからないでは、勝負になりませんからね

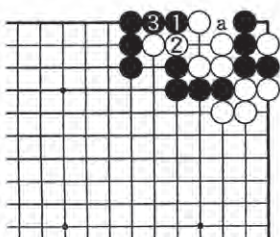


★(第2問)黒番  
☆石を取る手筋

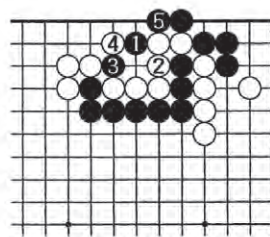


★(第1問)黒番  
☆石を取る手筋

第一感の手筋



↑2問解答  
黒1と白のタマを詰めれば、白はaに打つことができない。黒3まで隣の黒4子は生還する。黒1のaは白aで失敗。



↑1問解答  
黒1のツケが正解。いわゆる「3目の真ん中」の急所である。白2には、黒3から5まで、白は身動きが取れない。

# 令和4年度 尾道地区保護司会 役員及び部会員名簿

## ●役員名簿

名誉顧問	池原 恵信	
顧問	村上 俊昭	
顧問	藤本 幸三	
顧問	幣原 信忠	
顧問	三浦 幸廣	
理事	木村 修二	会 長(統括)
理事	小林 暢善	副会長・総務部会長(研修部)
理事	眞神田 嘉英	副会長(広報部)
理事	福岡 輝行	副会長・社会貢献活動担当者(協力組織部)
理事	村上 美鈴	副会長(地域活動部)
理事	小田 秋良	事務局長(統括補佐)
理事	野田 佳裕	事務局次長・会計次長(広報部)
理事	金森 泉	会計部長
理事	安藤 洋敏	第1分会長
理事	高田 英雄	第2分会長
理事	金岡 親量	第3分会長
理事	村上 恭子	第4分会長
理事	御藤 良基	総務部副部会長
理事	手島 常俊	広報部会長
理事	高橋 昭彦	広報部副部会長
理事	上野 静志	研修部会長
理事	藤井 潔	研修部副部会長
理事	下兼 緑 勉	研修部副部会長
理事	内海 一彦	学校連携事務統括
理事	杉原 正子	地域活動部会長
理事	長尾 良孝	地域活動部副部会長
理事	高垣 信雄	協力組織部会長
監事	武田 曉俊	
監事	村上 富行	
監事	吉兼 昭子	

## ●部会名簿 (◎部会長 ○副部会長)

総務部会(18)		広報部会(17)	
1	◎小林 暢善	1	◎手島 常俊
2	○御藤 良基	2	○高橋 昭彦
3	○野田 佳裕	3	○檀上 正光
4	木村 修二	4	上田 国光
5	小田 秋良	5	岡村 隆
6	眞神田 嘉英	6	末通 弘聡
7	福岡 輝行	7	土居 誠子
8	村上 美鈴	8	葉名 真紀
9	安藤 洋敏	9	比屋 真司
10	高田 英雄	10	宗光 大作
11	金岡 親量	11	村上 弘二
12	村上 恭子	12	村上 富行
13	金森 泉	13	木村 修二
14	内海 一彦	14	眞神田 嘉英
15	村上 俊昭	15	小田 秋良
16	藤本 幸三	16	野田 佳裕
17	幣原 信忠	17	村上 俊昭
18	三浦 幸廣		

## 地域活動部会(20)

1	◎杉原 正子
2	○長尾 良孝
3	○重森賢次郎
4	尼子 忠邦
5	槇村 廣郎
6	宇根本直子
7	大出 絹子
8	西川 幸男
9	花房 松雄
10	藤本 政昭
11	古本 幸雄
12	木村 修二
13	村上 美鈴
14	小田 秋良
15	金森 泉
16	安藤 洋敏
17	高田 英雄
18	金岡 親量
19	村上 恭子
20	内海 一彦

## 研修部会(20)

1	◎上野 静志
2	○藤井 潔
3	○下兼 緑 勉
4	石井 浩一
5	板坂 剛志
6	恵本 雄輝
7	大本 和英
8	岡本 静男
9	亀山 幸寛
10	北島 好勝
11	佐原 雅典
12	武田 曉俊
13	博田 淳子
14	星野 光男
15	村上 昌平
16	水ノ上登紀子
17	吉兼 昭子
18	木村 修二
19	小林 暢善
20	小田 秋良

## 協力組織部会(19)

1	◎高垣 信雄
2	○黒瀬 正人
3	○山本 浩矢
4	大上 浩
5	岡野 敬一
6	柏原 功
7	筒井 信
8	橋本 晶子
9	平山 典子
10	普家 俊一
11	藤原 健司
12	松谷 年展
13	松浦 政浩
14	宮本 基
15	村上 公俊
16	河野 康則
17	木村 修二
18	福岡 輝行
19	小田 秋良



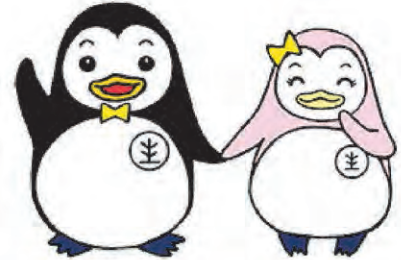
# 事務局だより

## 1. 令和4年春の褒章(令和4年4月29日)

藍綬褒章 三浦 幸廣 保護司 (更生保護功労)  
受章おめでとうございます

## 2. 御寄附のお礼

紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。  
小林 暢善様



## 3. 新任保護司のお知らせ(令和4年6月1日付委嘱)

分会	氏名	住所
第1分会	河野 康則	尾道市高須町

## 4. 会員家族の訃報

分会	氏名	続柄	没年月日
第2分会	金森 泉 保護司	実母(一二三)様	令和4年3月29日(火) 享年93歳

## 5. 退任保護司の訃報

尾道地区保護司会名誉顧問  
小林 海暢様 令和4年3月23日 享年102歳  
生前のご功績を偲び謹んでお悔やみ申し上げます。

## 6. 研修会等の予定

### 自主研修会

日時: 9月26日(月)  
場所: 尾道市民センターむかいしま  
テーマ: 尾道刑務支所所長の講演

### 現地研修(日帰り研修)

日時: 10月20日(木)  
施設名: 広島県立広島学園 ※東広島地区保護司会との交流会

### 第2回定例研修会

日時: 11月25日(金)  
場所: 尾道市民センターむかいしま  
テーマ: 「少年法等の一部改正」について

## 7. 矯正展のお知らせ

日時: 11月3日(木)  
場所: JR尾道駅前緑地帯

## 8. 令和4年度広島県更生保護功労者顕彰式

日時: 11月11日(金)  
場所: 広島市(詳細は未定)

## 9. 令和4年度第72回“社会を明るくする運動”

### 作文・標語コンテスト優秀作品表彰式並びに発表会

日時: 12月11日(日)  
場所: 更生保護サポートセンター

## 10. 尾道地区保護司会ホームページ立ち上げについて

現在立ち上げ準備中です。  
皆様の御意見をお待ちしております。

## 11. 広島県更生保護協会員の募集について

本年も協賛会員・普通会员の寄附者の募集取り組みを行っています。何卒よろしくお願い致します。



### 📷 表紙写真

撮影: 保護司 内海 一彦

早朝の大浜灯台です。天気が良く、白い灯台が浮き上がっていました。



### あとかぎ

暑中お伺い申し上げます。

おかげをもちましてここに「会報」75号をお届けすることができました。

記事を寄せてくださった方々、写真を提供してくださった方々、その他関わってくださった方々に心より感謝し御礼申し上げます。

今号の編集を始めた6月は、コロナ禍が落ち着きつつ徐々に以前の日常に向かう一方で、ウクライナ戦争による国際情勢の変化が為替レートを急激に変動させ、物価の上昇をもたらし、日常生活に次なる不安を強いてきた頃でした。編集諸君もそれぞれの思いもある中、笑顔で編集作業をしました。

また皆様のご感想をお聞かせください。今後ともさらに内容を充実させるべく広報部員一同工夫、努力してまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。猛暑の折、皆様におかれましてはくれぐれもご尊体ご自愛くださいますようお願いいたします。

(手島 常俊)

# 活動風景

2022年  
1～7月



3/17 第3回 定例研修会



4/6 会計監査



5/11 令和4年度 総会



5/16 ホームページ委員会



6/14 第1回 定例研修会



6/16 学校担当者会議



6/17 第4分会研修会



6/21 広報部会



6/27 尾道市地区推進委員会



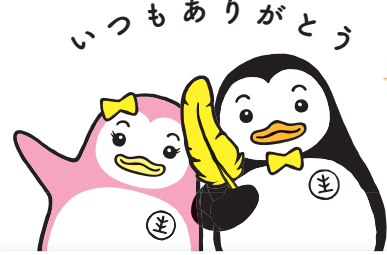
6/22 第30回4団体連絡協議会



7/1 社明運動(栗原MATE)



7/2 社明運動(尾道駅前)



7/2 社明運動(フジグラン)



7/1 社明運動(向島エブリイ)



7/14 薬物乱用防止教室(御調中学校)



7/15 薬物乱用防止教室(御調西小学校)

人はみな、  
生かされて  
生きてゆく。

